

英国出身ライリーさん 湯沢に旅行代理店開業

外国人に「雪国」売り出す

歴史、自然
リゾート 魅力「ありのまま」

スキー客を中心に観光客減少に歯止めがかからない湯沢町で、英国人男性が外国人向け旅行代理店を起業した。「将来は湯沢を訪れる観光客の半分を外国人に」と精力的に事業を展開している。

旅行代理店「ジャパンワールドワイド社」を起業したのは同町在住のニール・ライリーさん(三三)。ライリーさんは日本への留学のほか、二〇〇三年秋から一年間、欧州系投資銀行東京支店勤務など通算五年の日本滞在経験があり、日本語も流ちょうだ。

起業のきっかけは再来

日後に始めたスノーボードだ。ウインタースポーツの経験がなかったライリーさんは同町のリゾートマンションを購入するほど、スノーボードの魅力にとりつかれ、友人を招待し毎週末を同町で過ごすようになった。「多くの友達を楽しむ姿を見て、外国人をスキー場に呼び込めると思った」と、ライリーさんは話す。

「東京から近く、駅周辺に二十力以上のゲレンデがある湯沢は滞在期間の長い外国人観光客に格好」と考え、昨年十月に投資銀行を退職。今年四月、東京や香港在住の

英国人の友人ら三人と同社を立ち上げた。

十一月に旅行業免許を取得し、湯沢温泉通りにオフィスを構えたばかり。現在は日本人社員三人とともに、インターネットを通じて宿泊やスキー場の手配を受け付けているほか、飲食店やスキ

ー場のメニュー、看板の英訳など外国人受け入れのアドバイス業務やスポーツバーの経営も行って

いる。「東京からの利便性ばかりアピールして、なぜ歴史や自然の魅力を売

の「YU ZAWA」はまだ不思議なことばかりだが、「地元のひとと協力して『雪国』をテーマに世界へ魅力をアピールし、活性化させたい」と意気込んでいる。



湯沢で外国人観光客向け旅行代理店を起業した英国人のニール・ライリーさん＝湯沢町のジャパンワールドワイド社

Niigata Nippo Newspaper, 2 Dec 2005
新潟日報新聞2005年12月2日